

中山駅周辺

明治41年(1908年)にJR横浜線が開通し、それと同時に中山駅が開業して以来、南口には商店などが徐々に建ち並び、商店街が形づくられてきました。昔ながらの人と人のふれあいがあるとともその商店街の外周部に大規模店や公共施設、行政機関が立地していることで人の動きが広がりをもつようになりました。

四季の森と緑たっぷり召しあがれの道コース

Aコース(4.3km)

- 中山駅南口 → 四季の森公園(北口広場) → 四季の森公園(じゃぶじゃぶ池)
- 四季の森公園(南口広場) → 四季の森公園(ちびっこ広場)
- 四季の森公園(おし原温泉) → 四季の森公園(北口広場)
- 中山駅南口

Bコース(3.9km)

- 中山駅北口 → 中山大橋 → 恩田川河川敷 → コジマファーム
- 落合ブルーベリー農園 → 山下地域交流センター → 新良橋
- 恩田川河川敷 → 中山大橋 → 中山駅北口

GUIDE



1 四季の森公園

早春の淡い雑木の芽吹きに始まり、眩しい夏から色づく秋へ、そして、冬景色へと四季折々の花や生き物、里山風景を楽しむことができます。丘陵の起伏を利用した噴水、花壇、展望台、ジャンボ滑り台、野外ステージ、遊具広場、じゃぶじゃぶ池などのレクリエーション施設が楽しめます。



2 山下地域交流センター

昭和49年の本校、分校の変更後は分校として低学年の児童の学び舎でありましたが、昭和61年3月をもって約100年の勤めを果たし、横浜市内最後の木造校舎としての幕を閉じました。歴史ある山下小学校の木造校舎を後世に伝えたいという強い要望が乗り、山下連合地区の地域住民の集う施設、山下地域交流センターとして新しい役割を果たしています。昔の小学校を、そのまま、区民が使用できる交流センターとして再利用して、風情があります。



3 恩田川河川敷

見晴らしの良い開放的な空間です。河川敷には野菜の畑が続いています。



4 北八朔(きたはっさく)の田んぼと梨畑

北八朔地区は、約9haの梨園が広がる、横浜でも有数の果樹栽培地域です。ちょうど梨の販売の頃には、田んぼを渡る涼しい風を感じることができます。浜なし・浜ぶどう・柿・ブルーベリーや、養鶏場・蜂蜜など40以上の直売所があります。収穫時期に合わせて直売所巡りもおススメです。
(詳細は、横浜市緑区ホームページより「直売所マップ」参照)

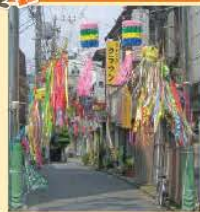


北八朔公園(きたはっさく公園)



身近な生き物が息できるような池やせせらぎ、雑木林や竹林を生かした散策路など、自然とふれあいを楽しめる北八朔公園は、標高20~60メートルの起伏のある地形に、表情豊かな自然環境が残されています。イベントも多く開催されています。

緑新栄会界隈



昭和40年代頃から形成された商店街。レトロな看板や狭く入り組んだ道など昭和の香りが残ります。普段は、大人の街だが、盆踊りの際には、浴衣を着た多くの子供たちで賑わいます。

久保谷戸お滝様



旧久保村にかつてあった一糸の滝は、農村に自然崇拜の対象として大きな尊敬を集めていました。



落合ブルーベリー農園

恩田川近くにある落合ブルーベリー農園は、130本近くのブルーベリーが植えられ、期間限定で摘み取り販売を行っています。
●住所: 緑区小山町653-2 ●電話: 932-5232
●営業日: 7月下旬~8月下旬の水・日曜日

コジマファーム

ビューな蜂蜜・ローヤルゼリー・プロポリスをお試しください。鮮度・栄養ミネラルビタミンがいっぱいです。
●住所: 緑区小山町653-8 ●電話: 931-4133
●取扱商品: 蜂蜜・ローヤルゼリー、プロポリス

恩田川・鶴見川の合流点

オオ・ヨシ原が広がり、多くの動物や昆虫がすみやすい場となっています。コサギ、カルガモ等の水鳥や、タモロコ、オイカワ、コイ等の魚も見られます。河川敷は、ウォーキングやマラソン、サイクリングコースとして沢山の人が利用しています。

